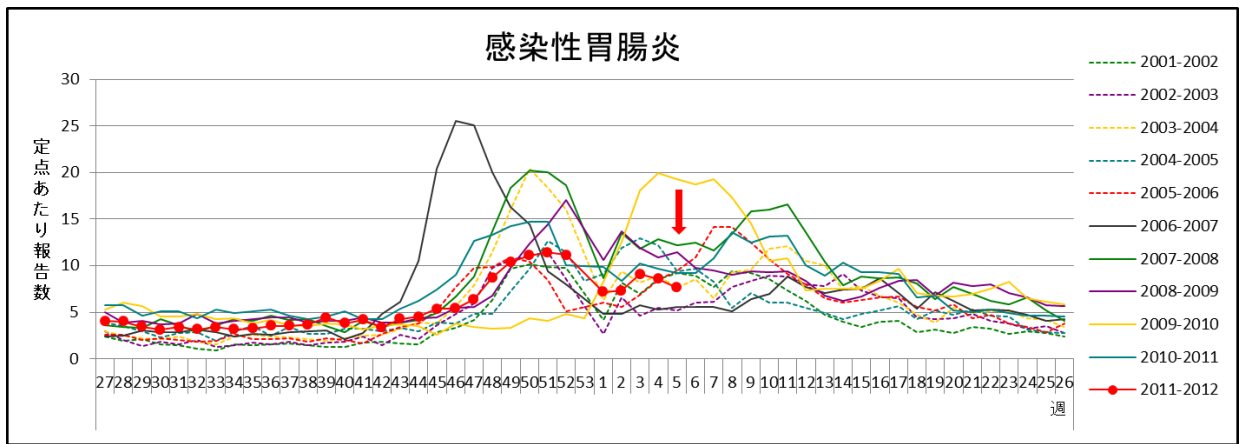


## 感染性胃腸炎情報 第5週 2012年1月30日～2月5日

○岡山県内の患者報告数は 412 名（ 定点あたり 7.63 人 ）で、前週より減少しました。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、県全体では 2 週つづけて減少しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.59 → 7.63 人 ）。地域別では、備北地域（ 11.75 人 ）、備前地域（ 10.20 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

冬の集団感染事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われています。岡山県では、今シーズンは現在までノロウイルスによる集団発生はありませんが、全国的には食中毒、集団感染事例が相次いでいます。『手洗いを励行する』、『食品は加熱して食べる』など感染予防を心がけましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

